



# ピアニスト100

100人を聴く10年、ついにラストシーズンへ。

音楽監督:中村絨子  
彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

ピアニストの中村絨子さんの監修により、100人のピアニストを紹介する演奏会は、彩の国さいたま芸術劇場の人気プログラムのひとつ。96回、97回もそれぞれ聴き逃さないプログラムだ。

文:諫山隆美(音楽評論家)

「ピアニスト100」シリーズの第96回に登場するのは南仏生まれのシプリアン・カツァリス。レパートリーはとても広いけれど、小品をあれこれ散りばめたプログラムにこそ個性を発揮する。ピアノという1台の楽器からこんないろいろな音を自在に出せるのは、カツァリスが最高ではないだろうか。ちょっとしたフレーズに魅力を注ぎ、一つ一つの音に強烈な色彩を与え、小さな曲にも鮮やかな光彩でデコレーションする。その表現力はあまりにもリアルで直接的なので、演奏曲目の向き不向きや聴き手からの好き嫌いもあるかも知れないが、しかし楽器から音を引き出す技術では明らかに世界最高の一人であろう。びっくりするような表現も平気で飛び出す、聴き手は病み付きになると間違いないの名ピアニストである。

## 96/100 シプリアン・カツァリス (フランス) Cyprien Katsaris

超絶技巧と独特の音楽性 個性溢れる伝説のピアニスト



1951年マルセイユ生まれ。4歳からピアノを学ぶ。パリ・コンセルヴァトワールを首席で卒業。70年チャイコフスキー国際、72年エリーザベト国際各コンクール入賞、74年シフ国際コンクール優勝。音楽院在学中から天才の誉れ高く、66年サンゼリゼ劇場の公式デビュー以来、稀代のテクニシャンとして世界的に活躍。オーマンディ、パンスタイン、ラトル、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管等世界一流のアーティストと共演。録音も数多く、シヨパンコンクールレコード部門グランプリ他多数受賞。2000年フランス政府叙勲、01年パリ市バーミル・メダル受賞。ユネスコ平和アーティスト。

【日時】10月21日(土) 開演 16:00  
【曲目】シューベルト:《3つのピアノ小品》D.946より 第1番 変ホ短調、第2番 変ホ長調  
シューベルト=リスト:歌曲 セレナーデ、水車屋と小川、アヴェ・マリア  
ハイドン:ピアノ・ソナタ 八長調 Hob.XVI-35  
L.モーツァルト=キャメロン:おもちゃの交響曲  
リスト=カツァリス:《2つのチャールダーシュ》より 第2曲<チャールダーシュ>、オプスティネ>  
シヨパン:ワルツ イ短調 Op.34-2、練習曲 八短調 Op.25-12、  
夜想曲 変ホ長調 Op.9-2、幻想即興曲 嬰ハ短調 Op.66、  
子守歌 変ニ長調 Op.57  
J.S.バッハ=カツァリス:トッカータとフーガ 二短調 BWV565  
【チケット(税込)】一般 S席 5,000円 A席 4,000円 学生 S席 3,000円 A席 2,000円  
メンバーズ S席 4,500円 A席 3,600円

## 97/100 キム・デジン (韓国) Kim Daejin

知的な演奏 指導者としても名高い韓国の重鎮



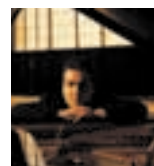
1985年第6回ロベール・カサドシュ(現クワラント)国際ピアノコンクール優勝。86年ニューヨーク・デビュー。87年クワラント音楽院にて、マーティン・キャンニン氏の指導のもと修士・修士・博士号を修得。現在韓国国立芸術大学教授として国際コンクールで入賞者を数多く輩出、優れた指導者としても高く評価されている。また国際コンクール審査員としても活躍。2002年韓国音楽協会より「ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれ、韓国東亜日報より「韓国で最も有名なピアニスト」の称号を受ける。

【日時】11月19日(日) 開演 15:00  
【曲目】ハイドン:ピアノ・ソナタ 八長調 Hob.XVI-48  
プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ第6番 イ長調 Op.82「戦争ソナタ」  
シヨパン:バラード第1番 短調 Op.23、バラード第2番 へ長調 Op.38  
バラード第3番 変イ長調 Op.47、バラード第4番 へ短調 Op.52  
【チケット(税込)】一般 S席 3,000円 A席 2,000円 学生 S席 2,000円 A席 1,000円  
メンバーズ S席 2,700円

第97回に登場するキム・デジンは韓国のピアニスト。今でこそ国際コンクールで最も有力な参加者が韓国人に最も多いように見受けられるが、キム・デジンは1985年、約20年前のロベール・カサドシュ国際コンの覇者。当時は韓国からもようやく優れたピアニストが目につくようになったころではなかったかと記憶している。現在の韓国若手ピアニストを隆盛を牽引した重要なピアニストこそが、キム・デジンなのだろう。今回のプログラムはハイドンとプロコフィエフという2人の作曲家によるソナタで時代の推移を感じさせ、後半ではシヨパンのバラード全曲を並べて、シヨパンの成熟を追うという充実した曲目で勝負する。韓国のパワーが各曲にどのように反映されるのか、大いに楽しみなところである。

## Coming Schedule チケット発売日

No.98~No.99 メンバーズ 9月9日(土) 一般 9月16日(土)  
No.100 メンバーズ 1月中旬(予定) 一般 1月下旬(予定)



## 98/100 アルカディ・ヴォロドス (ロシア) Arcadi Volodos

驚異的・超人的なピアニズム  
世界を席巻するヴィルトゥオーゾ  
【日時】12月9日(土) 開演 16:00  
【曲目】シューベルト:《楽興の時》Op.94 D.780 より 第1曲、第2曲、第5曲  
ピアノ・ソナタ第11番 へ短調 D.625  
リスト:《巡礼の年 第1年 スイス》より <オーベルマンの谷>  
<巡礼の年 第2年 イタリア>より <婚礼>  
<伝説>より <小鳥に説教するアッジン>の聖フランチェスコ  
<詩的で宗教的な調べ>より <葬送>  
★中村絨子音楽監督によるトーク付き  
【チケット(税込)】一般 S席 5,000円 A席 4,000円  
学生 S席 3,000円 A席 2,000円  
メンバーズ S席 4,500円 A席 3,600円



## 99/100 レイフ・オヴェ・アンズネス (ノルウェー) Leif Ove Andsnes

音楽への直截な情熱  
傑出した存在感をもつ北欧の俊英  
【日時】2007年2月10日(土) 開演 16:00  
【曲目】シベリウス:キュリッキ 3つの抒情的小品 Op.41  
グリーグ:ノルウェー民謡による変奏曲形式のバラード 短調 Op.24  
シェーンベルク:6つの小さなピアノ曲 Op.19  
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第32番 八短調 Op.111  
★中村絨子音楽監督によるトーク付き  
【チケット(税込)】一般 S席 4,000円 A席 3,000円  
学生 S席 2,000円 A席 1,000円  
メンバーズ S席 3,600円 A席 2,700円



## 100/100 第6回浜松国際ピアノコンクール最高位受賞者

Winner of the 6th Hamamatsu International Piano Competition  
ピアノ界の未来を託して  
歴史的瞬間を刻むは果たして…!  
【日時】2007年3月 ※コンクール本選後に決定  
【チケット(税込)】一般 S席 3,000円 A席 2,000円  
学生 S席 2,000円 A席 1,000円  
メンバーズ S席 2,700円

~PICK UPでは紹介しきれなかった、公演情報~

現代中国の多様な側面に触れる

## 「可愛い 彩の国さいたま 中国映画祭2006」

急速な近代化で、人々の生活の隅々まで変化の最中にある中国。中国や中華圏の映像作家たちは、その変化を様々な視点から捉え、多くの秀作を生み出している。そんな作品の中から5作を厳選。世代間の相克から現代の若者の描写まで、まさに“今”の息遣いが聞こえるような映像をお楽しみに。

### 「緑茶」A

女子大生ウーファンと見合いをしたミンリャンは、彼女に惹かれていく。彼は同じ頃ランランという女性と知り合う。二人の女性はよく似ているが、性格は正反対。ミンリャンは二人が同一人物ではないかと疑う。  
◆監督:張元(チャン・ユアン)  
◆出演:姜文(ジャン・ウエン)、趙薇(ピッキー・チャオ)、方力鈞(ファン・リジュン)ほか  
(2002年 キネティック 89分)



©保利華億傳媒文化有限公司

### 「シヨパンの酒家」B

シヨパンは重慶の吉慶街で屋台を切り盛りしている。親族がみな一身上の問題を抱えているため、彼女には悩みが多かった。ある日、シヨパンは吉慶街が取り壊されるとの情報を得るのだが…。  
◆監督:雷建起(フオ・ジェンチ)  
◆出演:陶紅(タオ・ホン)、陶澤如(タオ・ザール)ほか  
(2002年 角川ヘラルド映画 106分)



## MUSIC 11.3

### 「幸田浩子ソプラノ・リサイタル」

若手ソプラノ歌手幸田浩子と作曲家でピアニストの野平一郎との夢のリサイタル。彼女が大好きで長年歌いこんできたヘンデルの名曲の数々、名手同士の共演が望まれるリストの《ペトルカの3つのソネット》、そして彼女のために作られたというドンギアの《カリヨン》など、多彩なプログラムで、至福のひとつときをお過ごしください。  
◆11月3日(金・祝) 開演 16:00  
◆彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
◆曲目:ヘンデル:歌劇《セルセ》より “なつかしい木陰よ”  
リスト:ペトルカの3つのソネット S270  
ドヴォルジャーク:ジプシーの歌 Op.55 ほか  
◆チケット(税込):一般 3,000円 学生席 1,000円  
メンバーズ 2,700円  
◆発売中



©北山宏一

## MUSIC 11.18 光の庭プロムナード・コンサート

### 「オルガン・ミニ・コンサート」

土曜の昼下がり、やわらかい光が差し込む情報プラザで開催している「光の庭プロムナード・コンサート」。次回11月は、オルガンとソプラノの共演です。  
◆11月18日(土) 開演 14:00  
◆彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ  
◆曲目:モーツァルト:アンダンテ へ長調 K616 ほか  
◆出演:佐藤礼子(オルガン)、高橋絵理(ソプラノ)  
◆入場無料



©加藤英弘

## 「上海家族」G

15歳のアーシャの母は家庭を省みない夫と離婚し、実家へ戻る。やがて母は娘のために再婚するが、うまくいかずにまた娘と実家に戻るようになる。しかし、もはや実家に母と娘の居場所はなかった…。2003年トリノ国際女性映画祭最優秀作品賞受賞作。  
◆監督:彭少蓮(ボン・シャオレン)  
◆出演:周文倩(チョウ・ウェンチン)、呂麗萍(リュ・リーピン)ほか(2002年 東宝東和 96分)



## 「五月の恋」D

人気バンド、メイティのギタリストの弟として兄に劣等感を感じながら怠惰な生活を送るアレイ。ある日メイティのサイトでファンからのメールに「僕がボーカルのアシンド。」と嘘をついてしまう。  
◆監督:徐小明(シュー・シャオミン)  
◆出演:陳柏霖(チェン・ボーリン)、劉亦菲(リウ・イーフェイ)、五月天(メイティ)ほか  
(2004年 トルネードフィルム 110分)



©2005 Elite Group(2004) Enterprises Inc.

## 「単騎、千里を走る」E

高田剛一は、民俗学者である息子のやり残した仕事である三国志の関羽にまつわる仮面劇「単騎、千里を走る。」を撮影するために単身、中国の麗江市を訪れる。中国の奥地への長旅の中で高田を待つものは…。第18回東京国際映画祭オープニング作品。  
◆監督:張芸謀(チャン・イーモウ)  
◆出演:高倉健、寺島しのぶ、ジャン・ウエンほか  
(2005年 東宝 108分)



©2005 Elite Group(2004) Enterprises Inc.

上映スケジュール	10:40~	13:40~	16:10~	18:40~	会場
10月17日(火)	A	D	C	E	埼玉会館 小ホール
10月19日(木)	B	C	A	D	彩の国さいたま芸術劇場映像ホール
10月20日(金)	C	A	E	B	
10月21日(土)	E	B	D	A	
10月22日(日)	D	E	B	C	

※10/17(火)Aの回には、中国映画字幕翻訳家水野衛子先生による講演があります。  
◆チケット(税込):全席自由 一般 前売1回券700円(当日200円増) 前売4回券2,000円  
高校生以下 前売1回券500円(当日200円増) 前売4回券1,200円  
※中国映画祭チケットは、窓口販売のみとなります。

## CINEMA 12.9 彩の国シネマスタジオ

### 「ホテル・ルワンダ」

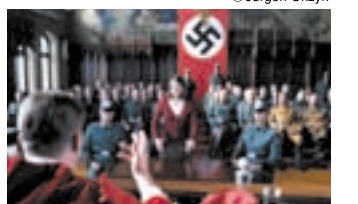
世界では今日も様々な事件が起こっている。「怖いね」「悲しいね」とつぶやくだけで、次の瞬間にはいつもの日常に戻っている。しかし、その日常は常に世界と地続きなのだ…。1994年、アフリカのルワンダで民族間の対立が発展した大虐殺事件が発生した。敗米や国連までもが「第三世界の出来事」とこの悲劇を黙殺する中、ひとりのホテルマンの良心と勇気が奇蹟を生む。「愛する家族を守りたい。」そのただ1つの強い思いが殺されゆく運命にあった1200人の命を救った…。見逃してはしくない真実のドラマです。  
◆12月9日(土) 10:00/13:00/16:00/19:00 ◆彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール  
◆監督:テリー・ジョージ 脚本:テリー・ジョージ・ケア・ピアソン  
◆出演:ドン・チードル、ソフィー・オコネド、ニック・ノルティ、ホアキン・フェニックスほか  
(2004年 南アフリカ=イギリス=イタリア 122分)  
◆チケット(税込):全席自由 前売 一般1,000円 小中高生800円 当日 各200円増  
◆発売日:9月16日(土)



## CINEMA 1.13 彩の国シネマスタジオ

### 「白バラの祈り」

1943年のナチス政権下、ミュンヘン大学で生物・哲学を専攻する学生ゾフィー・ショルが、同大学医学部の学生であった兄ハンスと一緒に学内で反政権を内容とするピラをまき、ゲシュタポに捕まり、取調・裁判・処刑されるまでの6日間に焦点をあてたドキュメンタリー映画。「白バラ」と称する非暴力で反政権・戦争終結を主張する学生運動。彼女が特に政治に偏向していたというわけもなく、ただ、おかしいと思った者をおかしいという勇気があったという「普通の大学生」として描かれているだけに、余計に「私だったら…」と考えさせられる。  
◆1月13日(土) 10:00/13:00/16:00/19:00 ◆彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール  
◆監督:マルク・ローテムント  
◆出演:ユリア・エンチン、アレクサンダー・ヘルト、ファビアン・ヒンヌフリフス、アンドレ・ヘンニクほか  
(2005年 ドイツ 121分)  
◆チケット(税込):全席自由 前売 一般1,000円 小中高生800円 当日 各200円増  
◆発売日:9月16日(土)



©Jürgen Okzyk